



校種・教科別ICT活用事例一覧表 (小学校・国語)

(小学校学習指導要領(H29告示)解説国語編を基に作成)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
話し言葉と書き言葉			<p>p79 ウ (前略) …ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。</p> <p>表現・制作</p> <p>文書作成ソフトなどを活用し、キーボードでローマ字入力により作文を書く。</p>		<p>p117 イ 話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。</p> <p>意見整理</p> <p>プレゼンテーションで表示する書き言葉と読み原稿の話し言葉の特徴を入力し合い、共通点や相違点などについて分類してまとめる。</p>	
語彙			<p>p81 オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>調査活動 表現・制作</p> <p>文書作成ソフトなどを活用し、語句を分類する表を作り、新たな語句が出てくるたびに入力し、語彙辞典を作る。</p>			
音読、朗読			<p>p84 フ 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>自分の音読や朗読の様子を録音や録画して振り返ることで、表現の工夫を見直す。</p>		<p>p123 ケ 文章を音読したり朗読したりすること。</p>	
伝統的な言語文化			<p>p89 イ 長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使うこと。</p> <p>表現・制作</p> <p>プレゼンテーションソフトを活用し、写真や文章、イラスト、音、アニメーションなどを用いて、ことわざなどを説明する。</p>		<p>p127 ア 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。</p> <p>調査活動</p> <p>自分の音読を録音や録画し、再生して視聴することで、心地よい響きやリズムを味わう。</p>	
言葉の由来や変化			<p>p90 ウ 漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。</p> <p>思考を深める学習 表現・制作</p> <p>プログラミング教材などを活用して、へんやつくりの部品を画面上で組み合わせて様々な漢字を作るゲームを制作する。</p>			
A 話すこと・聞くこと	<p>p59 (1) ウ 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>自分のスピーチの様子を録音や録画して振り返ることで、表現の工夫を見直す。</p>		<p>p96 (1) ウ 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。</p> <p>表現・制作</p> <p>プレゼンテーションソフトを活用し、自分の考えが伝わるような資料を制作する。</p>		<p>p134 (1) ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。</p> <p>表現・制作</p> <p>プレゼンテーションソフトを活用し、自分の考えが伝わるような資料を制作する。</p>	
	<p>話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有 (話し合うこと)</p>		<p>p98 (1) オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。</p> <p>意見整理</p> <p>意見を入力し合い、共通点や相違点などについて分類してまとめる。</p> <p>発表や話し合い</p> <p>録画した話し合いの様子を再生して振り返り、司会者、提案者、参加者などが、それぞれの役割を理解して話題に沿って話し合っているかなどについて話し合う。</p>		<p>p136 (1) オ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。</p>	
B 書くこと	<p>p64 (1) ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>表現・制作</p> <p>プレゼンテーションソフトなどを活用し、絵や写真などを用いてまとめ、発表する。</p>		<p>p101 (1) ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して設定した話題や題材に関連する情報を検索する。</p>		<p>p140 (1) ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>表現・制作</p> <p>プレゼンテーションソフトなどを活用し、新聞やリーフレットにまとめる。</p>	
	<p>題材の設定、情報の収集、内容の検討</p>		<p>p104 (1) エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。</p> <p>調査活動</p> <p>辞書のアプリケーションソフトを活用し、自分が伝えたいことを端的に表現する言葉を探したり、推敲する際により適切な言葉を選んだりする。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>文書作成ソフトなどを活用して文章を入力し、段落ごと入れ替えたり、漢字の間違いを検索することによって、文章を推敲する。</p>		<p>p143 (1) オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。</p>	
			<p>推敲</p>			

C 読むこと	共有	<p>p73 (1) カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。</p> <p>意見整理</p>	<p>p112 (1) カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。</p>	<p>p150 (1) カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。</p>
	<p>全員の感想や意見が一覧で表示されることで、互いの意見や感想を確認し合い、情報を共有する。</p>			
障害のある児童への配慮	言語活動例	<p>p75 (2) ウ 学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。</p> <p>調査活動 発表や話し合い</p> <p>気になったページを撮影し、表示しながら分かったことを説明する。</p>		
	障害のある児童への配慮	<p>p160 文章を目で追いながら音読することが困難な場合には、自分がどこを読むのかが分かるように教科書の文を指等で押さえながら読むよう促すこと、行間を空けるために拡大コピーをしたものを用意すること、語のまとまりや区切りが分かるように分ち書きされたものを用意すること、読む部分だけが見える自動具（スリット等）を活用することなどの配慮をする。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>画面上の音読する文章の書体や大きさ、色などの表示を工夫し、児童がどこを読むのかが分かるようにする。</p>		
		<p>p160 声を出して発表することに困難がある場合や、人前で話すことへの不安を抱いている場合には、紙やホワイトボードに書いたものを提示したり、ICT機器を活用して発表したりするなど、多様な表現方法が選択できるように工夫し、自分の考えを表すことに対する自信がもてるような配慮をする。</p> <p>個に応じた学習 発表や話し合い</p> <p>児童が自分の声を録音したり、自分の考えを入力して提示したりするなど、多様な表現方法を選択できるようにする。</p>		